

平成22年度 第2回西木地域審議会会議録

日 時 平成23年2月22日（火）午前10時～

場 所 仙北市役所西木庁舎 二階 農林研修室

出席委員 門脇健郎会長、橋本左武郎副会長、佐藤昭三郎委員、角野浩民委員、阿部昭司委員
橋本敦子委員、布谷和好委員、赤倉祐子委員

会議を欠席した委員

佐藤雄孝委員、澤山純一委員、鈴木重蔵委員、佐藤幸委員、藺藤幸順委員

会議に出席した職員

企画振興課長 佐藤 強

環境防災課長 高村 省弘

企画振興課 課長補佐 鈴木 一芳

〃 係長 能美 正俊

〃 主査 伊藤 大介

〃 主任 鈴木 匡尚

環境防災課 課長補佐 田口 幸栄

〃 係長 清水 洋衛

会議次第 1 会長あいさつ

2 企画振興課長あいさつ

3 案件

①地域防災のあり方について（雪害対策）

・地域住民が自主的に取り組む地域防災の手法について

（被災防止対策、情報伝達、住民避難、高齢者対策、事後処理等）

②その他

門脇会長

おはようございます。先の三地域の合同審議会の中で、会長を仰せつかった門脇でございます。皆様のご協力を賜りながら審議会を進めてまいりたいと思います。また、今日は好天に恵まれましたが、今回は地域防災、雪害対策についてというテーマです。今年はこのほか大雪でありましたが、除雪等に不満もあるかもしれませんが、テーマに沿いながら皆様のご意見をいただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

佐藤企画振興課長

今日は、お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。昨年12月20日でありましたが、合同審議会を開催し審議事項を確認していただきましたが、この度は、雪害への地域防災のあり方について審議いただきたく、こちらから資料等準備しており、一通りご説明申し上げ

げます。その後、皆様からご審議いただきたいと思っております。昨日行われた田沢湖地域審議会では、地域運営体など地域ボランティアの除排雪作業時の事故などの保険の問題や、空家の除雪問題など提起されました。

個人財産となるので、なかなか行政が予算を使ってということにはなりにくく、地域運営体など地域ボランティアのお力で何とかならないものかと思っております。

今日も含め今後の審議会にて、今後の地域防災の手法等についてご助言いただきますようお願い申し上げます。

鈴木企画振興課長補佐

詳しい説明の前に、今回のテーマについてご説明申し上げます。(資料にて説明)

門脇会長

それでは、説明をお願いします。

高村環境防災課長

資料に沿って説明(地域防災の在り方、地域防災計画抜粋 P75、資料編 P70、地域防災の手法について、提出資料)

鈴木企画振興課長補佐

資料に沿って説明(資料4他)

門脇会長

市からいろいろ説明ありましたが、地域の現状と課題、地域防災の手法など、資料1に沿ってご意見等をいただきたいと思えます。

今年は大雪ではありましたが、この地域ではあまり被害はないと思っておりますが、被災防止対策については、地域での話し合いや各関係団体との連携を深めなければならないのではないかと思います。この地域は防災無線については整備されているが、外部スピーカーによるものは、あちこちから同時刻に発信しているせいで聞き取りづらいと思われま。

西木村当時は19の消防団があったが、そういう方々の役割は大きかった。情報伝達では、秋田県、仙北市のような広範囲での情報であり、3地区毎の情報を発信できないものかと思う。

除雪に関しては、質が落ちたと思う。委託したせいなのかどうか分からないが。

橋本委員

上桧木内地域については除雪は問題ありません。御礼を言いたいくらいです。

布谷委員

除雪は、何時頃に出動するのでしょうか。出動の目安は。

鈴木企画振興課長補佐

市の除雪計画の中で出動の基準があります。降雪の状態により各地域の係員が判断し、降雪

が10cmを超えた場合、午前0時以降から作業を開始し午前7時までには終了するという目安があります。基準時間（午前0時）以降に降雪があった場合、皆様がおっしゃられるとおり除雪がされていないという状況が発生しているものです。

布谷委員

午前0時の段階で出動しても、最初に除雪を終えた場所でも降り続いた雪は積もり、朝方にまた残っていることもある。仕方のないことではあるが。

門脇会長

基準時間に降雪がなければそれ以降出動しないというのではなく、それ以降でも朝方でも降れば出動するということでなければならぬのでは。地域ごとに降雪量も違いだろうし。

布谷委員

地区毎に係員がいるのか。

橋本委員

上桧木内地区には坂本に係員がいます。

鈴木企画振興課長補佐

除雪作業につきましては、業者委託されております。

布谷委員

係員による降雪の観測時間は？大変な作業ではあろうが。

橋本副会長

業者委託ということだが、除雪が来なかったり、細部まで行きわたっていなかったりすると、住民は「予算がないのか？」とってしまう。業者には徹底した除排雪作業を指示してもらいたい。救急車両が通れなかったということがあれば大変だ。降雪量も含めて地域事情が各地区毎に違うことは認識してもらいたい。

阿部委員

この前の大雪の時など、自分が住む地区には除雪車が来るのが午前10時11時頃になっていた。その間、どこの道路も除雪されずに同じ状況だったと思う。朝方降った場合などは、せめて幹線道路だけでも除雪するとかないものか。

門脇会長

あの時は事故も発生した。計画は素晴らしいものがあるが、如何にこれを運用するかである。

角野委員

住民とすれば、この計画とおりにやっていただければいいだけだと思ってしまう。この大

みそかは降雪があったが除雪車が来なかった。この日は、普段あまり出歩かないお母さんたちも車で買い物に出掛けるなど、大変道路が使用される。このような時に除雪がないとは、ありがたくないものだ。しかも、別に除雪しなくてもいいと思われる時に除雪しているし、雪質も考量して判断すればどうか。西明寺地区だって、降雪状況の確認は車で走っても20分そこらだし。除雪車のオペレーターと親しいと思われる家は、きれいに除雪されていると思われる。そのようなことではなく、全てきれいにやってほしい。

門脇会長

旧西木村時代では、日中でも出動したものだ。

布谷委員

交差点の除排雪が課題だと思う。見通しが悪くなってしまうことから、除排雪で対応できないのであればミラーの取付とか。主要なところではないところが危ないわけで。

橋本副会長

市道のカーブミラーは、環境防災課が担当か。

高村環境防災課長

建設課の対応となっております。

門脇会長

市役所内では、各課同士による連絡協議会とか開催しているのか。

橋本副会長

カーブミラーの在庫は無いのか？大量にあると聞いたことがあるが。

清水環境防災課

在庫はありません。

門脇会長

除雪等により破損したりしたカーブミラーがあるが、早く直したほうがよいのでは。

佐藤委員

過去には、要援護家庭の場合は、除雪に気を使ってやっていたが、今はどうか？一人暮らし老人世帯などに対する気遣いは。

橋本副会長

昔は家の前に印をつけたりしていたが、現在はやっていないのでは。

橋本委員

今は、プライバシーの関係で、印をつけないでほしいとの要望はないです。上桧木内を担当してくれているオペレーターは、地域の事情を把握してもらっている。このようにオペレーターの方々に地域事情などを把握してもらうことが大切だと思う。

門脇会長

業者委託は、もともと経費節減のために行ったものだが、そのために除雪がお粗末になったのでは、住民のためにならない。

阿部委員

除雪業者に対する説明会等は開催しているのか。

高村環境防災課長

除雪時期になれば、協議はしていると思います。

阿部委員

そのような時に指示徹底できないものか。不公平感もあるのでは。旧町村によって除雪のやり方が違っていたが、合併したし、同じようなレベルで除雪してもらいたい。

橋本副会長

桧木内地区の運営体に携わっているが、社会福祉協議会を通じて、高齢者、一人暮らし世帯などのデータをもらって、除雪等に役立てた。建設課でも同じようデータを貰ってにやればいいのか。

橋本委員

2月2・3日に職員による除雪作業が行われたが、上桧木内地区は職員2人によって見回りをしたようだが、地域や親戚などの協力によって、そういった世帯の除排雪はうまくいっているようだ。除雪業者にも住民サイドから伝え、業者から建設課に相談し、建設課が現地を確認した上で、適切な対応をしてもらっている。このような機会に話し合われたり要望するよりも、地域住民が直接建設課に伝えた方が早いのではないのでしょうか。

門脇会長

自助、公助・共助とはどのようなことか。

鈴木企画振興課長補佐

除雪関係等に意見等いただきましたが、地域でできる防災の手法として、公助とは地域のみなさんと市役所が連携して行うもの、共助とは地域の皆さん同士が連携して行うもの、最後に自助とは個人が行うものとなります。これらの各手法についてご意見をいただきたいと思っております。

橋本副会長

去年の大仙・仙北・美郷の防災訓練が西木地区で行われたが、その際にパンフレットが配布されたが、自治会長等がない集落は市役所職員が一軒一軒配布して廻ったと聞く。自治会組織がないところもあるが、いざその集落で何かあったときは、誰が先頭になって動くか、これが重要だ。ボランティア精神があるので、地域の代表者がいなくなることはまずい。赤い羽根募金とかいろいろあるが、そういったことを引き受けてくれたのが自治会長だった。まあ、それは俺の仕事ではないと断った方もいらっしゃることも事実だが。しかしながら地域の代表者は必要である。地域の代表者をプライバシーの関係で教えてもらえないとのことも聞いているが。

佐藤企画振興課長

大変貴重なご意見だと思います。しかしながら、プライバシーの問題があるのも事実です。逆に地域の皆さんが市役所に対して、もちろん本人からの了解を得てからになろうかと思いますが、教えてあげてもよいというような環境、システムを作っていただきたいと思っております。過去に、一人暮らし世帯に印をつけてこともあるようですが、これも、犯罪のターゲットになるような危険性やプライバシーの問題から取りやめたことだろうと思います。ですから、地域のことは地域でという、もう一度昔のような地域関係に戻さないといけないと思っております。防災のみならず、全てのことにつながっております。

橋本副会長

市内の全地区において地域運営体があるわけでもないが、ボランティア除雪にしてみても、それを生業にしている人には迷惑をかけないように思っている。まあ、当然ボランティア保険をかけている。消防団の場合は、年中保険が掛けられているので大丈夫だが、一人暮らしや空家の除雪もしたことがある。その地域の分団長が指示することではあるが、大いに活用したほうがよいのでは。

佐藤企画振興課長

空家の、しかも屋根の雪下ろしについてどうするかについて、田沢湖地区審議会でも話題になったが、地域の皆さんがお互いに了解のうえで行っていることもあるだろうと思いますが、行政で対応してほしいとお願いされることも多いが、行政としてはなかなか個人財産に手を出せない。また、保険の話ですが、除雪での事故も発生しております。保険の話は徹底しなければならないと思っております。

佐藤委員

自分の地区にも空き家がある。自分の家の除排雪もままならない状況で、他の家のことまでは考えられない。どうにかしようと思った時には、もう除排雪作業に危険が伴う状態で、結局何もできない。

布谷委員

事前に対応を決めておかなければならない事案ではないかと思う。

橋本委員

上桧木内地区にもある。雪の中に埋もれている空き家もある。

高村環境防災課長

近所に、心配して連絡してくれる方々もいます。所有者と連絡が取れば良いのですが、なかなか連絡が取れない状況も多いです。地域の方々の方が市役所より事情を知っているので、地域の中のコミュニケーションが大切だと思います。

橋本委員

空き家の固定資産はどうなっているのか。

鈴木企画振興課主任

空き家になった理由も様々だろうと思いますが、相続人なり調査し、的確な課税を行っています。

阿部委員

所有者もいなく相続人もいない場合は、手続きをして国のものにしたらどうか。

橋本委員

そういった物件が雪下ろしがされていないのであって、そういった空家の雪下ろしがプライバシーの問題になるのか。

角野委員

市で取り組む姿勢がないのでは。定住と絡めて空き家対策を行っているようだが、その上で考えられると思う。

橋本副会長

いろいろ担当はあろうかと思うが、市の中でも課の横の連携が必要だろうし、やらなければならないと思う。

高村環境防災課長

連絡が取れる範囲ではありますが、対応しております。しかしながら、なかなか連絡が取れない方々もおりまして難しいところであります。

佐藤委員

地域、近所の方々が気を使って空家の管理をしてあげても、所有者から礼の一つもない。これでは、自然と手をかけることはなくなると思う。

橋本副会長

地域のコミュニケーションは気薄になってきた。迷惑をかけたくないし、かけられてくない

し、高齢化してきている。集落単位で何もしなくなっている。これは行政にも責任があるのでは。

佐藤企画振興課長

どうしたらよいものか難しいですね。昔のように、集落、地域毎で集まる機会がなくなっているようですし。

橋本副会長

行政がそのような組織づくりや機会づくりをしなければならない。

門脇会長

やはり、そのような組織が必要で、その代表者が必要だということだろう。

高村環境防災課長

やはり、災害のとき、行政だけで完璧に対応することは無理となっています。行政と防災機関、もちろん住民の皆さんと一丸となって対応しなければうまくいきません。その中で地域住民の皆さんは、その地域事情・状況を知っているわけで、それをいかに共助として取り組むかということが重要となっています。若い人もいなくなってきた、高齢化なってきているから今だからこそ、昔の組織を立て直そうと、そういったところを考えなければならないと思います。現在は、地域運営体が設立されてきておりますが、これに限らずとも、地域の自主防災組織が必要だと思います。

橋本副会長

地域の実情にあった組織作りが必要だと思います。

門脇会長

他にありますか？

赤倉委員

大雪のせいか、雪が貯められているところがあるが、そのようなところの除排雪はこれからあるのか。

高村環境防災課長

状況と事情を考慮しつつ、除排雪作業はあると思います。

門脇会長

いろいろご意見等でしたが、他にはありますか。

佐藤委員

ネットワークづくりが大切だろうと思う。

高村環境防災課長

全くそのとおりでございまして、自主防災組織等があれば、市役所としてもすぐにその組織に必要な情報などをご連絡したりできますし、すぐ対応できたりと。やはり、地域は地域で守るという意識のもと、組織作りが必要かと思います。

佐藤委員

情報の交換や伝達が、正確に行われなければならないし、そのシステムを構築するためには、そのような地域単位の組織づくりが必要だ。

高村環境防災課長

正確な情報が流れることが重要だろうと思います。

橋本委員

地域によって地域の避難場所がどこかわからないなどあるようだが。

門脇会長

マップが配布されたようだが。

高村環境防災課長

そのマップに載せてございます。

門脇会長

あのようなものを作る際には、地域事情に詳しい方から聞き取りしなければならないと思う。

橋本委員

行政とのパイプ役としての人、昔で言う行政連絡員のような人が必要だと思います。

布谷委員

防災無線についてですが、屋内の物は正常に作動されているのか。

橋本副会長

故障しているものもあるのでは。

橋本委員

民生委員によって点検、見回りし、故障していたものは市役所に交換してもらったこともある。

阿部委員

屋外の防災無線は、聞き取りづらい場所もある。

門脇会長

いろいろなご意見等が出されましたが、情報伝達の手法も含めてよく検討してもらいたいと思います。

地域審議会は、これらテーマに限った話し合いだけ審議すればいいものだとは思っていません。当初のように、審議会独自の事項もあると思います。今後ともよろしくお願いします。

(11 : 45 終了)